



報道関係者 各位

食品ロス削減 × 子ども食堂 で課題を解決！ アマゾンジャパン合同会社より「子ども食堂」への提供 ～ あなたの「もったいない」を、だれかの「ありがとう」に ～

大東市では「子ども食堂の充実」に向け、地域貢献活動に取り組むアマゾンジャパン合同会社の大東市のフルフィルメントセンター(以下、「FC」という)から、令和6年3月28日に、食品などを大東市内の子ども食堂のために提供いただきます。

■ 今回の取り組み(大東オリジナルフードドライブ活動 第5弾)

今回の取り組みは、本市が推進している「大東オリジナルフードドライブ活動」*第5弾として、FC と各子ども食堂運営事業者をつなぎ、本市が受け取った食品を子ども食堂に提供するというものです。



「大東オリジナルフードドライブ活動」の様子

■ 背景にある課題

大東市では、安心して子育てができるまちづくりとして、「子ども食堂の充実」に力を入れ、子ども食堂を運営する団体への補助事業も行っています。しかしその一方で、昨今の物価上昇等により、食材の確保が難しく、子ども食堂の安定した運営が全国的な課題となっています。また、食品ロス・食品廃棄物の削減は、社会・経済・環境において非常に重要な世界的問題であり、喫緊の課題となっています。

そこで本市では、食品ロス削減と子ども食堂運営の両者の課題を結び付け、それぞれの取り組みをつなぐ「大東オリジナルフードドライブ活動」により、双方の課題を解決しようと取り組んでいます。

■ 今後の予定(大東オリジナルフードドライブ活動 第6弾)

本市唯一の総合大学である大阪産業大学内で、災害時に備えて備蓄している食糧のうち消費期限が近づいたものを、学内での活用に加え、本市を通じて子ども食堂に無償提供する仕組みを作ります。

<災害備蓄品の贈呈式>

3月28日(木) 午後4時～(30分程度) 大東市役所 市長応接室
出席者:大東市長、大阪産業大学学長

令和5年度から開始した大東オリジナルフードドライブ活動は着実に広まりつつあり、今後も市内企業への定期的な食品の提供を呼び掛けるなど、「継続的に実施できる仕組みづくり」を主眼として子ども食堂の安定した運営を図り、「子育てするなら、大都市よりも大東市。」を実感していただける取り組みを実施していきます。

問い合わせ先

子ども食堂: 福祉・子ども部こども家庭室(家庭児童相談室) 橋本・高橋 072-875-8101
フードドライブ活動: 市民生活部環境室(環境政策 G) 武内(ぶない) 072-870-9621

※ 大東オリジナルフードドライブ活動とは

この活動は、食品ロス対策の取り組みの一つである「フードバンク」への提供だけに止まらず、食料品を届ける「フードドライブ」の推進や、更に回収品と提供先のニーズをマッチングし、受け取られた方々の「笑顔を見届けるまで」の活動を含めて、「大東オリジナルフードドライブ活動」と名付けています。

(参考)「大東オリジナルフードドライブ活動」の様子



写真:災害備蓄品(粉ミルク・液体ミルク)を子育て拠点(キッズプラザ)利用者にご提供

あなたの「もったいない」を、だれかの「ありがとう」に

これまでの取り組み (大東オリジナルフードドライブ活動)

(しくみ第1弾) 大東市の災害備蓄品を子ども食堂等に提供

本市の災害時に備えて備蓄している食糧のうち消費期限が近づいたものを、子ども食堂や NPO 法人、社会福祉協議会等 13 団体(令和 6 年 3 月 1 日現在)に無償提供しました。

<実績>

ラスク 3,360 食、液体ミルク 1,173 缶、粉ミルク 10,800 本、
粉ミルク(重度アレルギー児対応用) 2 缶、パックご飯 860 個、
保存水 9,840 本、アルファ化米 50 食炊き 600 食



(しくみ第2弾) ファミリーマートに回収ボックスを設置し、フードバンクに活用

ファミリーマートと社会福祉協議会を繋ぎ、大東市内にあるファミリーマート4店舗で回収された食品を、社会福祉協議会のフードバンク活動の拠点(RiBIBON)にて、食料支援を必要とする人に無償提供できる仕組みを作りました。

<実施店舗>

- ・ファミリーマート大東新町店 ・ファミリーマート大東大野店 ・ファミリーマート大東三住町店
- ・ファミリーマート大東赤井店



(しくみ第3弾) ファミリーマートで回収された食品を子ども食堂に活用

ファミリーマートと各子ども食堂運営事業者を繋ぎ、大東市内にあるファミリーマート 5 店舗で回収された食品を子ども食堂に無償提供する仕組みを作りました。

<実施店舗>



- ・ファミリーマート大東南楠の里店 ・ファミリーマート大東新田西町店
- ・ファミリーマート大東寺川店
- ・ファミリーマート大東諸福店 ・ファミリーマート大東野崎店

(しくみ第4弾) 市役所に回収ボックスを設置し、子ども食堂に活用

おおさかパルコープと本市が連携協定を締結し、3月1日に市役所本庁舎に食品回収ボックスを設置し、市民の皆様が食品ロスの取り組みに参加すると同時に、地域の子ども食堂や福祉団体に無償提供できる仕組みを作りました。



(しくみ第5弾) アマゾンジャパン合同会社から食品等を子ども食堂に提供

FCと各子ども食堂運営事業者をつなぎ、FCから本市が受け取った食品を子ども食堂に提供できる仕組みを作りました。

(しくみ第6弾) 大阪産業大学の災害備蓄品を子ども食堂に提供

本市唯一の総合大学である大阪産業大学内で、災害時に備えて備蓄している食糧のうち消費期限が近づいたものを、学内での活用に加え、本市を通じて子ども食堂に無償提供する仕組みを作ります。